



写真：アカショウビン（撮影：令和元年5月22日）

「アカショウビン」

アカショウビン *Halcyon coromanda* ブッポウソウ目 カワセミ科

赤い宝石

一年を通して雨の多い霧島山。降り注いだ雨は川となり麓まで流れ、その流れは魚、カエル、昆虫などのたくさんの生き物を育てています。そしてその生き物を食べることを目当てに多くの野鳥も生息します。燃えるような赤い鳥アカショウビンはその代表です。「キョロロロ…」と独特の高い鳴き声が聞こえたらそれはアカショウビン。しかし音のする方を探してもその姿は見つかりません。暗い林内で活動することが多く、なかなか人前に現れてくれないのです。運よく見つけたら、光沢のある真っ赤なくちばしと全身の鮮やかなオレンジから朱色の彩りがあまりに美しく、その姿が目焼き付いてしまうかもしれません。宮崎県内では「アカビツシヨ」「キンキョドイ」などの方言名もあり、美しい容姿のせいから昔から人からの関心も高かったようです。暖かな日が増え、ハイキングに最適な季節。青い空や緑の木々の中で、輝く赤い宝石を探してみませんか。

（文）えびのエコミュージアムセンター